



クイックインストールガイド

EWS5207

セキュア WLAN コントローラ

著作権表示

本書は、米国著作権法およびその他の法律で保護されており、Edgecore Networks Corporation に帰属します。お客様は、Edgecore Networks Corporation からの書面による事前の許可なく、いかなる形式または方法によっても、本書のいかなる部分もコピー、複製、配布、公開、表示、実行、または変更することはできません。お客様は、コンテンツのコピーから著作権またはその他の通知を変更または削除することはできません。その他すべてのブランド名および製品名は、各社および各組織の商標または登録商標です。

無断複写・転載厳禁

注意事項

- 本ドキュメントはEdgecore社が発行した英文ドキュメントを和訳したものです。和訳内容に不明事項がある場合は、英文原文での確認をお願いします。
- 安全性と規則に関する情報については、コントローラに付属の『安全と規制について』を参照してください。

序文

この『クイックインストールガイド』では、EWS5207 セキュア WLAN コントローラの使用を開始するための手順と参考資料について説明します。また、EWS5207を他のネットワーク機器に接続する方法についても説明します。

パッケージの内容

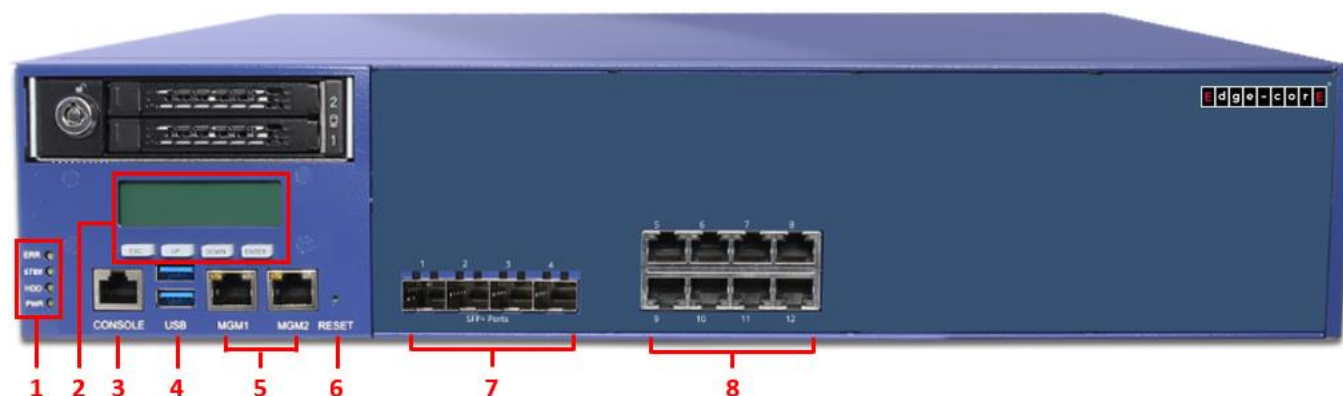
1. EWS5207 × 1
2. クイックインストールガイド(QIG) × 1
3. 電源コード × 2
4. コンソールケーブル × 1
5. クッション × 4
6. HDD キー × 2



最高のパフォーマンスを保証するために、他のサプライヤの部品を使わず、パッケージ内のすべてのサプライ品を使用することを強くお勧めします。

システムの概要

前面パネル



1. LED インジケータ: システムのさまざまなステータスを示す 4 種類の LED があります。

| | | |
|-----------------|---------------|----------------|
| ERR(電源異常) | LED 点灯(オレンジ色) | いずれかが失敗します |
| | LED 消灯 | PSU ステータス正常 |
| STBY(システムスタンバイ) | LED 点灯(オレンジ色) | 常時オン |
| HDD(ハードディスク) | LED が点滅(緑色) | HDD 読み取り/書き込み中 |
| | LED 消灯 | データ転送なし |
| PWR(電源) | LED 点灯(緑色) | 電源オン |
| | LED 消灯 | 電源オフ |

2. 液晶ディスプレイ: ネットワーク管理者は、ネットワークインタフェース、SZ 構成などの重要な設定を確認できます。ナビゲーションボタンは、左から"ESC"、"Up"、"Down"、および"Enter"です。
3. Console: RJ-45 コンソールポートを使用して設定できます。管理者は、Microsoft のハイパーターミナルなどのターミナルエミュレーションプログラムを使用して、設定コンソールインタフェースにログインし、管理者パスワードの変更やシステムステータスの監視などを行うことができます。
4. USB: 将来の使用のために準備されています。
5. MGM ポート: 管理者が EWS5207 を管理できます。
6. Reset: リセットボタンを押して、システムを再起動します。
7. 10G SFP+ポート: 2 つの WAN 10G SFP+ポートは、ISP からの ADSL ルータなどの外部ネットワークに接続されています。他の 2 つの 10G SFP+ポートは LAN 接続用です。

| | |
|---|------|
| 1 | WAN1 |
| 2 | WAN2 |
| 3 | LAN7 |
| 4 | LAN8 |

8. **RJ45 イーサネットポート**: 2 つの 10/100/1000Base-T WAN ポートは、ISP の ADSL ルータなどの外部ネットワークに接続されています。その他の 6 つのポートは LAN 接続用です。

| | |
|---|------|
| 5 | WAN1 |
| 6 | LAN1 |
| 7 | LAN2 |
| 8 | LAN3 |

| | |
|----|------|
| 9 | WAN2 |
| 10 | LAN4 |
| 11 | LAN5 |
| 12 | LAN6 |

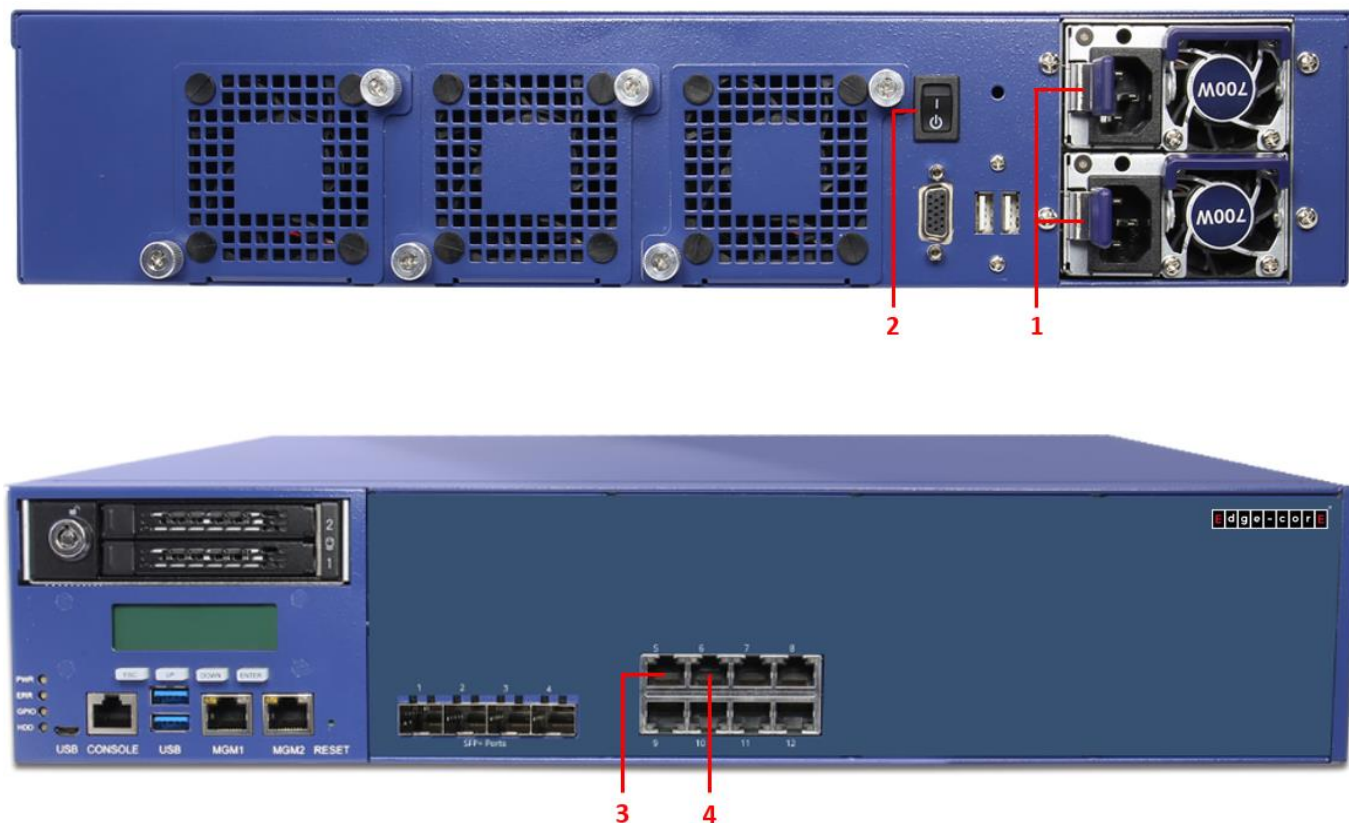
背面パネル



9. **電源スイッチ**: 装置の電源をオン/オフします。
10. **VGA コネクタ**: 必要に応じてモニターに接続します。
11. **USB**: 将来の使用のために準備されています。
12. **電源ソケット**: 電源コードを内蔵電源に接続します。

ハードウェアの取り付け

EWS5207 をインストールするには、次の手順に従ってください。



1. 電源コードを背面パネルの電源ソケットに接続します。
2. 背面パネルの電源スイッチをオンにします。正常に接続されていることを示すために、電源 LED が点灯している必要があります。
3. フロントパネルの WAN1 ポートにイーサネットケーブルを接続します。イーサネットケーブルの他端を、xDSL/ケーブルモデム、または内部ネットワークのスイッチ/ハブに接続します。適切な接続を示すために、このポートの LED が点灯している必要があります。
4. イーサネットケーブルをフロントパネルの任意の LAN ポートに接続します。イーサネットケーブルの他端を管理者用 PC に接続して、EWS5207 システム、無線カバレッジを拡張する AP、より多くの有線クライアントを接続するためのスイッチ、またはクライアント PC を設定します。正しく接続されていることを示すために、この LAN ポートの LED が点灯している必要があります。

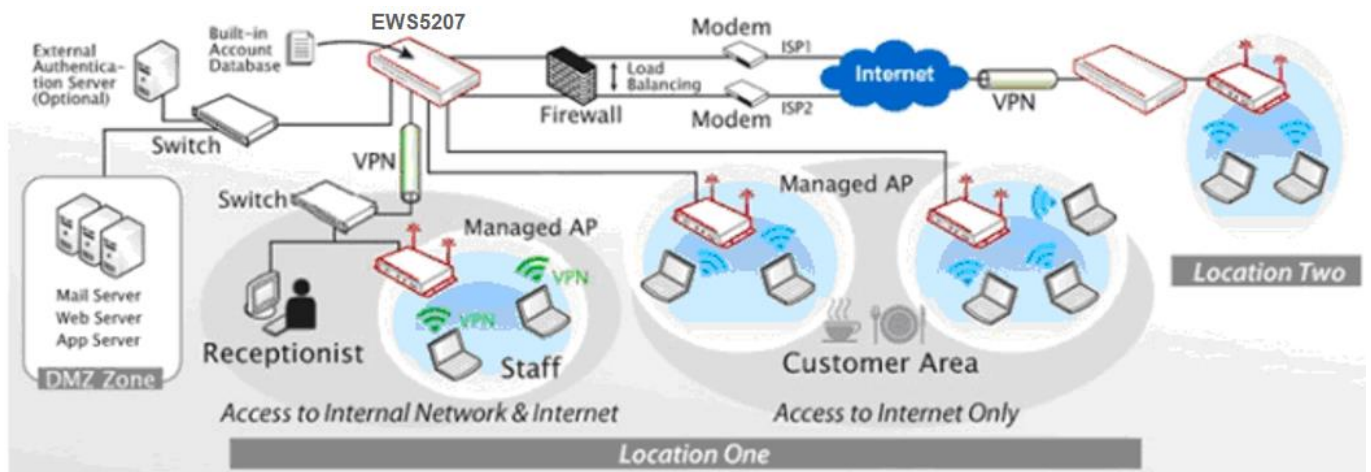
はじめに

<システムコンセプト>

ローカルアカウント、オンデマンドアカウントが組み込まれたギガビットイーサネットの EWS5207 セキュア WLAN コントローラは、WISP、エンタープライズ、キャンパス、ホテル、空港ターミナル、MDU/MTU などの大規模な WLAN 展開に最適なセキュリティソリューションです。EWS5207 は、「安全なアクセス制御」、「訪問者アカウントの提供」、「柔軟な会計と課金」、「集中型 WLAN 管理」を 1 つの箱にまとめ、管理を簡素化し、迅速なモビリティを提供します。EWS5207 は、より強力なハードウェアにより、アクセスポイントを一元管理し、より大きなネットワークでより広いサービスエリアをカバーすることができます。

セキュアなビジネスネットワーク

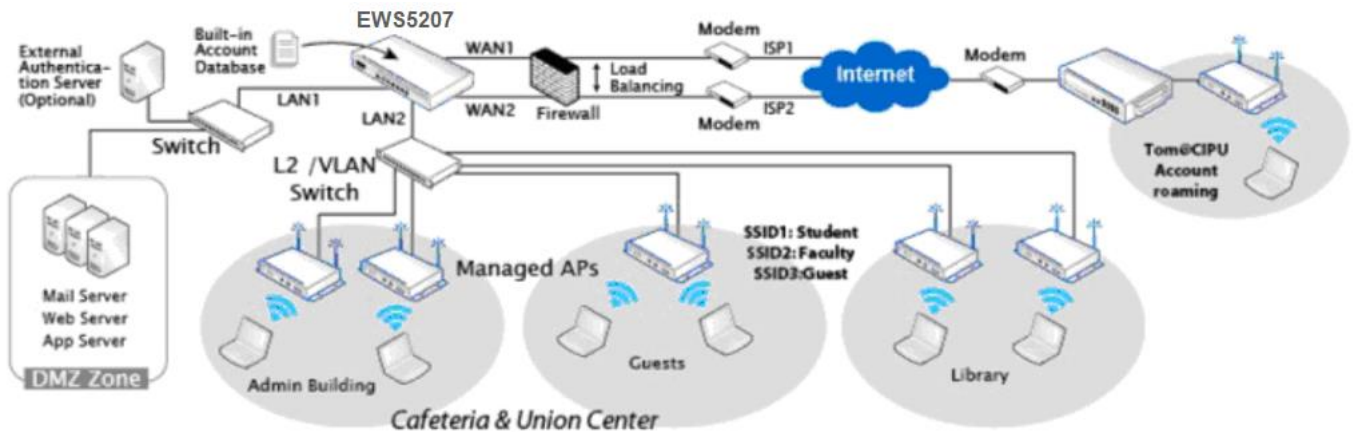
EWS5207 は、有線および無線ネットワークアクセスを統一的に管理するビジネスに適しています。さまざまな部署からのユーザのネットワークアクセスとゲストのアクセスは、さまざまなサービスゾーンに分離できます。必要に応じて、EWS5207 ローカル、Site-to-Site、およびリモート VPN トンネルを使用して、ビジネスの情報フローをさらにセキュアにすることができます。出張中のモバイルワーカーや在宅勤務のテレワーカーは、リモート VPN トンネルを介してオフィスネットワークに安全にアクセスできます。



【事業本部 EWS5207】

学生寮、アパート、ホテルのネットワーク構築

EWS5207 は、テナントのインターネットアクセスニーズに対応するために、学生寮、アパート、またはホテルについて、新しいテナント登録の管理やテナント間での帯域幅の均等な共有を容易にします。また、会議、展示会、学生の春休みの集会など、大規模なイベントで無線インターネットサービスを提供するように EWS5207 を設定すると便利です。



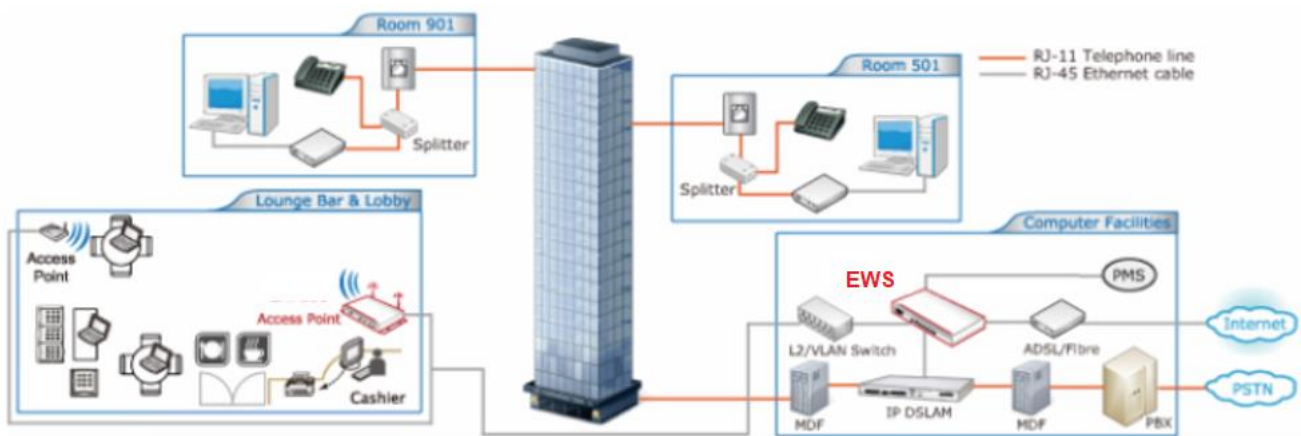
[キャンパス環境での管理対象ネットワークの例]

電気通信事業者またはワイヤレス ISP(WISP)の大規模ホットスポット展開

電気通信事業者または大規模ホットスポットオペレータの場合、EWS5207 は、分散ホットスポットサービスを導入するための便利で経済的な方法を提供します。ほとんどのオペレータは、外部 RADIUS サーバを認証データベースとして使用することを好みますが、このアーキテクチャの EWS5207 は、中央 RADIUS-NAS の役割を果たすことができます。EWS5207 では、迅速な導入のために、Web UAM と 802.1X の 2 つの認証方法がサポートされています。ローカルにアップロードされたカスタマイズされた Web UAM ページと、外部 Web サーバに存在する外部 Web UAM ページをサポートできます。さらに、EWS5207 のサービスゾーン概念により、1 つのコントローラが複数のフランチャイズホットスポットを同時に管理することができます。

プロパティマネジメントシステム(PMS)搭載ホテル

Micros Fidelio/Opera などのプロパティマネジメントシステム(PMS)を利用しているホテルでは、EWS5207 でも部屋の請求書にインターネット接続料金を含めることができます。また、お客さまは、いつでも、部屋やフロントカウンターで、インターネットサービスを購入することができます。1 つのアカウントで、ホテルのゲストは、有線イーサネットポートを介して部屋のインターネットにログオンしたり、ホテルの施設全体でワイヤレスアクセスを楽しむことができます。アカウントの有効期限が切れるか、購入したクォータが制限に達するまで、部屋でネットサーフィンを希望するゲストは、パスワードを再入力する必要はありません。EWS5207 は、最もコスト効率が高く、設定が簡単なホテル用インターネットアクセスコントローラです。EWS5207 は、最新の IP ネットワークインフラストラクチャを採用した施設に対して、無線と室内有線の両方のインターネットサービスを管理し、課金できるだけでなく、DSLAM と DSL モデム装置を組み合わせた従来の電話回線だけを利用して各部屋にインターネットを配信する人々に適しています。



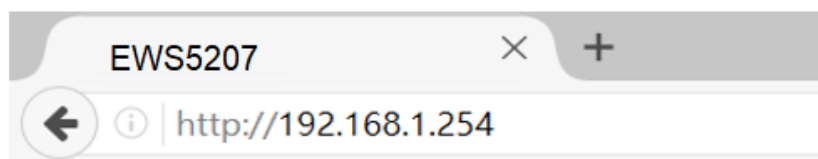
[EWS5207 in a Hotel-DSLAM and PMS との統合が可能]

要約すると、機能豊富な EWS5207 は、インターネットアクセスサービスの複数のビジネスモデル(無線または有線クライアントの管理用)をサポートしています。これは、民間企業、政府機関、大学のキャンパス、マルチテナントユニット(MTU)、ホテル、WISP、または電気通信事業者のホットスポット事業に適合するように設定できます。EWS シリーズは、現在市場に出ているすべてのアクセスコントローラの中で最高の価格性能を提供することを目的としています。

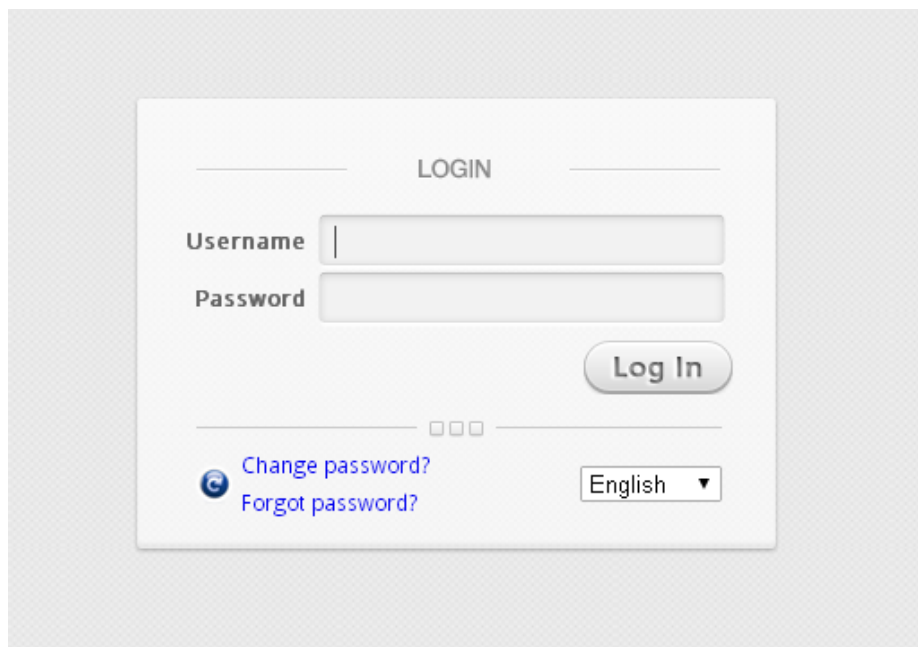
＜Web 管理インタフェース＞

EWS5207 は、Web ベースのマネジメントインタフェースをサポートしています。ハードウェアのインストールが完了すると、EWS5207 は、Internet Explorer バージョン 9.0 以上または Firefox のような JavaScript を有効にした Web ブラウザを介して構成することができます。

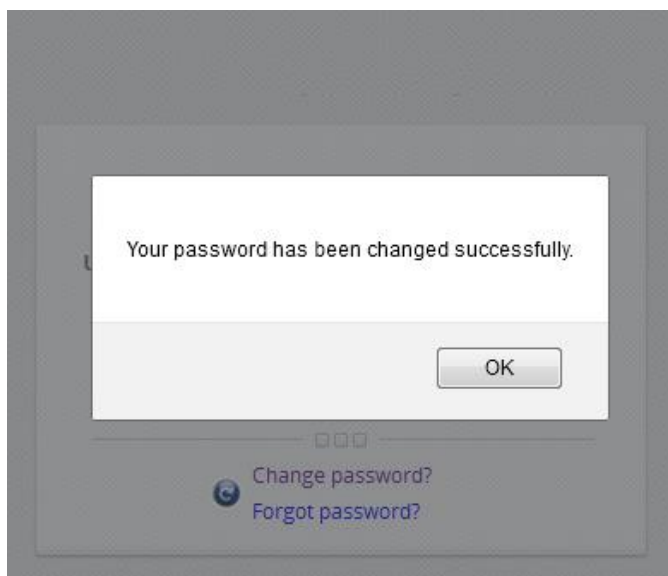
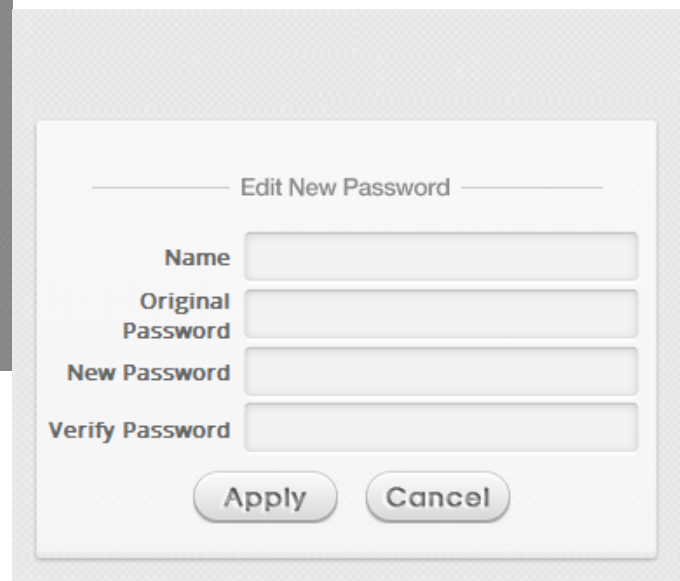
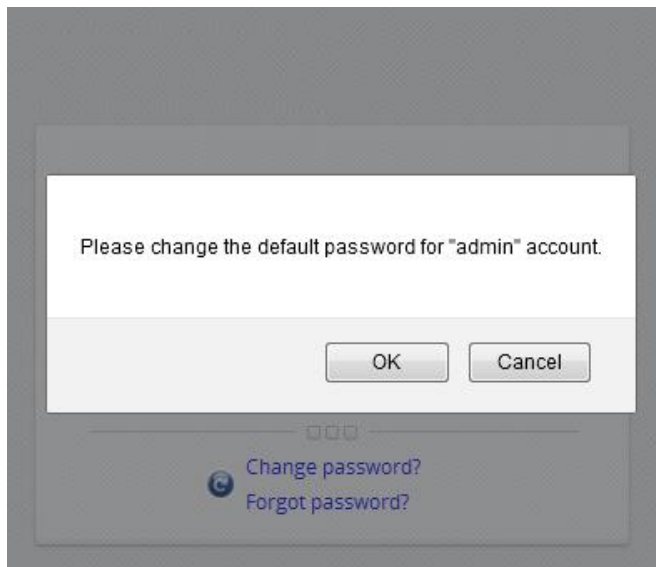
1. Web 管理インタフェースに接続するには、パソコンをいずれかのポートに接続し、ブラウザを起動します。PC の TCP/IP で DHCP を設定し、IP アドレスを動的に取得していることを確認します。
2. 次に、アドレス欄に EWS5207 デフォルトサービスゾーンのゲートウェイ IP アドレスを入力します。デフォルトゲートウェイ IP アドレスは"http://192.168.1.254"です("https"はセキュア接続に使用されます)。



3. Administrator Login ページが表示されます。Username および Password 欄に、"admin"、デフォルトのユーザ名、およびデフォルトのパスワード"admin"を入力します。Login をクリックしてログインします。



4. ログインが成功すると、システムセキュリティを実施するために管理者にパスワードの変更を求めるプロンプトが表示されます。パスワードの長さは 6 文字以上で、少なくとも 1 つのアルファベットと 1 つの数字が含まれている必要があります。



5. パスワードが正常に変更されると、管理者インタフェースの welcome ページが表示されます。

Welcome to System Main Menu

□□□

This Administrative Web Interface allows you to set various networking parameters, to customize network services, to manage user accounts and to monitor user status.

Functions are separated into the following main categories:

[System](#) , [Users](#) , [Devices](#) , [Network](#) , [Utilities](#) , and [Status](#) .

For a quick overview of the system, please refer to the [Dashboard](#).

For shortcut links to the Dashboard, you may click the 4ipnet Logo on the top-left, or click the '[Dashboard](#)' icon on the top-right.

The '[Star](#)' icon on the top right is a [Setup Wizard](#) that provides a quick step-by-step guide on setting up your system.

For help with your system configuration, click the '[?](#)' Icon for Online Help.

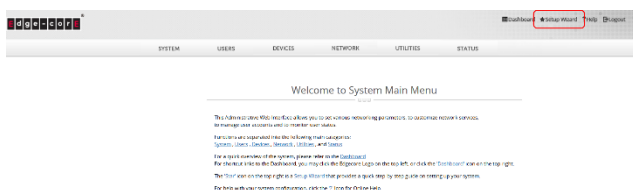


ログイン画面が表示されない場合は、(1)PC が正しく設定されていないため、PC が LAN ポートから IP アドレスを自動的に取得できない、(2)IP アドレスとデフォルトゲートウェイが同じネットワークセグメントにない、などの理由が考えられます。192.168.1.xx などのデフォルト IP アドレスを使用して、再試行してください。

共通設定

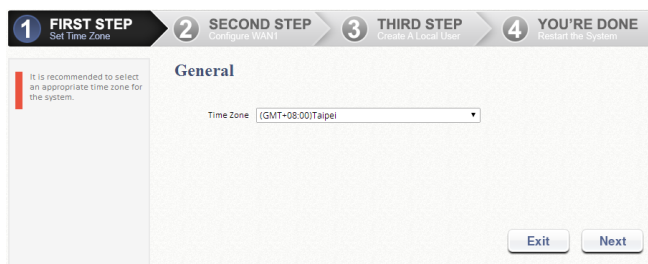
<セットアップウィザード>

EWS5207 には、簡単に構成するためのセットアップウィザードが用意されています。セットアップウィザードを使用して EWS5207 をすばやく設定するには、右上隅の Setup Wizard をクリックして構成プロセスを開始します。



ステップ 1: 一般

- ▶ Time Zone ドロップダウンリストボックスを使用して、システム時刻を設定します。
- ▶ Next をクリックして続行します。



ステップ 2: WAN1 インタフェース

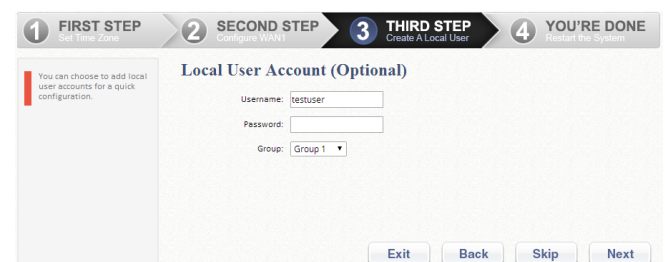
- ▶ WAN1 インタフェースに適したインターネット接続の種類を、Static、Dynamic または PPPoE の 3 種類から選択します。使用可能な接続タイプについては、ISP またはネットワーク管理者にお問い合わせください。以下に Dynamic の事例を示します。
- ▶ Next をクリックして続行します。



ステップ 3: ローカルユーザアカウント(オプション)

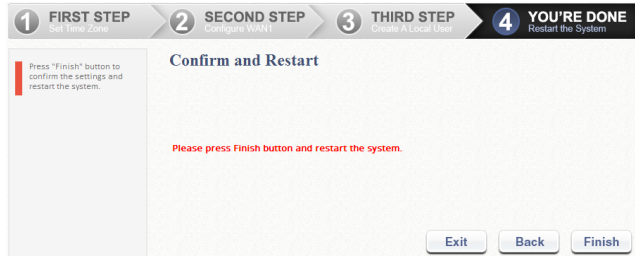
このオプション機能を使用して、新しいローカルアカウントを作成し、データベースに追加することができます。ローカルユーザアカウントが不要な場合は、Skip をクリックしてステップ 4 に進んでください。ただし、このセットアップウィザードの完了時にシステムの準備状況を確認するために、少なくとも 1 つのローカルユーザアカウントを作成することをお勧めします。

- ▶ ユーザ名(例: testuser)、パスワード(例: testuser)を入力して、新しいローカルアカウントを作成します。
- ▶ Next をクリックして続行します。
- ▶ ステップ 4 で Back をクリックすると、ローカルアカウントを追加できます。

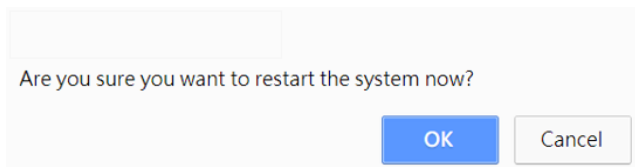


ステップ 4: EWS5207 の確認と再起動

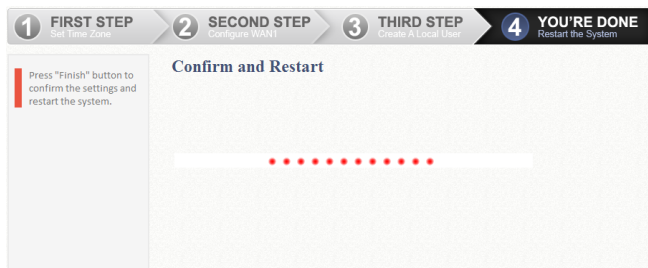
- Finish をクリックして現在の設定を保存し、システムを再起動します。



- 確認のダイアログボックスが表示されます。OK をクリックして続行します。



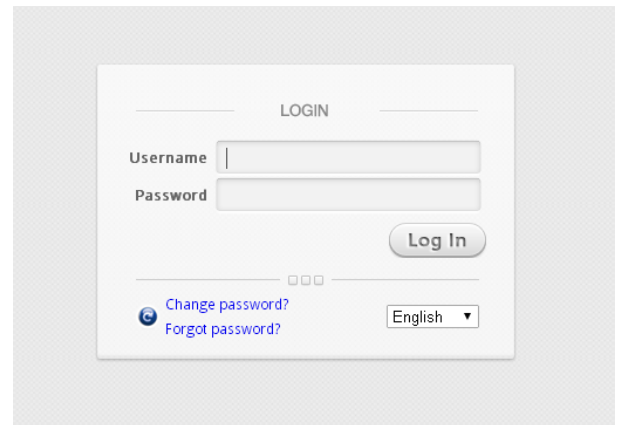
- 再起動中は Confirm and Restart 画面が表示されます。Administrator Login ページが表示されるまで中断しないでください。



▶ NOTE:

この段階では、DNS サーバの検索が試行されています。したがって、設定された DNS が見つからない場合は、起動時間が長くなります。

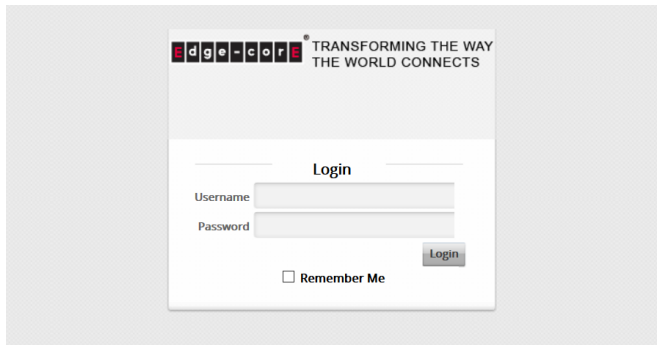
- 以下の Administrator Login ページが表示された場合は、再起動が完了していることを示しています。



＜ユーザログイン＞

セットアップウィザードで作成した新しいローカルユーザアカウントの設定が正常に完了したかどうかを確認するには、次の手順を実行してください。

1. クライアント装置(ラップトップ、PC など)を任意の LAN ポートに接続します。装置は、DHCP を介して自動的に IP アドレスを取得します。
2. クライアント装置で Web ブラウザを開き、任意の URL にアクセスすると、デフォルト User Login ページが表示されます。
3. セットアップウィザードで以前に生成したローカルユーザアカウントのユーザ名とパスワード(たとえば、ユーザ名は"testuser@local"、パスワードは"testuser")を入力し、Login をクリックします。

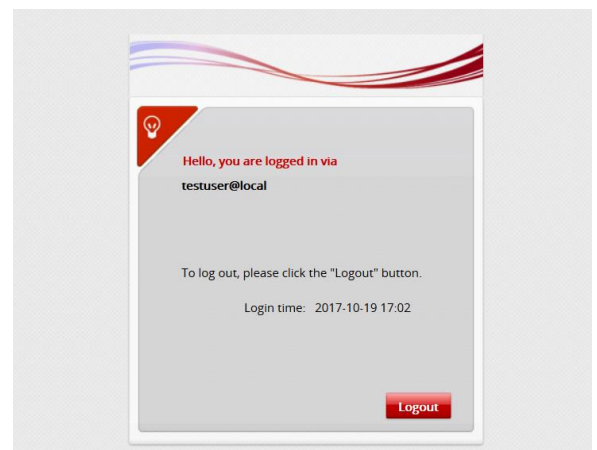


▶ NOTE:

1. EWS5207 は、内蔵ローカルユーザデータベースや外部認証データベース(RADIUS など)を含む複数認証オプションをサポートしています。入力された完全なユーザ名から、どの認証オプションが使用されているかが自動的に識別されます。
2. 完全な(有効な)ユーザ名の形式は `userid@postfix` です。ここで、"userid"はユーザ ID、"postfix"は選択した認証オプションの名前です。
3. **例外:** デフォルト認証オプションを使用する場合にのみ、postfix を省略できます。たとえば、このシステムでは、"LOCAL"が既定の認証オプションであるため、Username 欄に"testuser"または"testuser@local"のいずれかを入力できます。

クライアントが EWS5207 に正常にログインし、システムによって認証されると、Login Success ページが表示されます。

Login Success ページは、EWS5207 がインストールされ、正しく設定されていることを示しています。



＜サービスゾーンと AP 管理＞

EWS5207 では、「サービスゾーン」という新しいコンセプトが導入されています。サービスゾーンの設定方法については、ユーザの取扱説明書を参照してください。

EWS5207 では、複数のアクセスポイント(AP)を一元管理できます。AP 管理機能の設定方法については、ユーザマニュアルの「AP 管理」を参照してください。

構成と詳細については、ユーザの取扱説明書を参照してください。

P/N: V34320180816JP